

No.190

さい議会だより



佐井小学校議会見学（令和2年6月25日）【関連記事：13ページ】

6月定例会の主な内容

- ☆農業委員7名の任命に同意 ・・・・・・・・・・・・ 3ページ
- ☆一般質問に3名登壇 ・・・・・・・・・・・・ 4～9ページ
- ☆新型コロナウイルス感染症対策に関する政策提言 ・・・・ 11ページ
- ☆シリーズ「昭和・平成・令和をつなぐ」 ・・・・・・ 14ページ

審議した主な議案

○専決処分した事項の承認について

令和2年度佐井村一般会計補正予算（第1号）

一般会計予算27億8150万2千円に、新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策として2億1857万8千円を追加し、予算総額を30億8万円とする。

・特別定額給付金事業

・子育て世帯への臨時特別給付金事業

・佐井村中小企業支援事業資金貸付制度事業

・佐井村新型コロナウイルス感染症対策緊急雇用維持助成金事業主負担分支援制度事業

・「おうちで“佐井村うに祭り”2020」補助金

- ・感染症対策に係るマスクや消毒液等の購入費
- ・給付金支給に係るシステム導入費

○専決処分した事項の承認について 令和2年度佐井村介護保険特別会計補正予算（第1号）

3億6983万5千円に、96万円を追加し、予算総額を3億7079万5千円とする。

一人暮らし高齢の方を対象とした配食サービス事業を、新型コロナウイルス感染症の影響により外出を控える高齢者が増加することが予想されたため、来年度以降に事業を開始する予定だったものを前倒しで開始する。



予想を大幅に超える注文により、2週目の受付は抽選販売となった
(おうちで“佐井村うに祭り”2020)

○財産の取得について

老朽化した現在の11トン級の除雪ドーザから、新たに8トン級の除雪ドーザを購入する。

契約金額	919万6千円
受注者	日本キヤタピラーコンパニー
むつ営業所（むつ市）	

補正予算の内容

会計	補正前	補正額	計
	30億80千円	2億3730万1千円	32億3738万1千円
一般会計			<ul style="list-style-type: none"> ・サイボード更新に係る業務委託料 1億3310万0千円 ・モンキードッグ及び貸付牛の購入費 130万0千円 ・消防団用消防ホース購入費 105万6千円 ・学校空調設備（エアコン）整備事業 8246万7千円 ・佐井中学校ICT推進事業 843万9千円 ・4月1日付、職員の人事異動等に伴う人件費の減額 ▲411万8千円など

農業委員 7人の任命に同意

現委員は令和2年7月19日で任期満了となるため、令和2年4月6日から5月7日に募集が行われ、定数7人に対し7人の応募がありました。

村長から提案された7人の任命については、すべて同意することに決しました。

任期は、令和2年7月20日から令和5年7月19日までの3年間です。

昭和
26年
7月～農業委員
平成
26年
7月～農業委員



川村 久子 氏

昭和
59年
7月～農業委員
令和
2年
7月～農業委員



園山 和徳 氏

昭和
16年
7月～農業委員
平成
23年
7月～農業委員
会長職務代理



加藤 良悦 氏

昭和
24年
7月～農業委員
平成
23年
7月～会長
準認定農業者



佐藤 安美 氏

昭和
13年
7月～農業委員
平成
23年
7月～農業委員



太田ハル子 氏

昭和
15年
7月～農業委員
平成
14年
7月～農業委員
准認定農業者



菊池 繁 氏

昭和
24年
7月～農業委員
平成
24年
7月～農業委員
准認定農業者
令和
2年
7月～農業委員



湊谷 明 氏

農業委員の職務内容

- ・農地の権利移動の認可及び農地転用の審査業務
- ・農地利用の最適化に関する指針の策定
- ・耕作放棄地の解消指導
- ・現地調査業務
- 等



農業委員辞令交付式・組織会（7月20日：役場和室）



太田直樹 議員

新型コロナウイルス感染症の村への影響

村民や事業者の声を聞き対応すべき

**セキュリティ上
導入は困難**

の緊急対応にも有効では
ないかと考えるが。

太田議員
はじめに、特別定額給付金の支給やマスク配布等、休日を返上し公務に励む村職員の方々に感謝の意を述べる。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、世界中で多くの方が亡くなり、過去に類を見ない不況に直面している。村の商業や観光産業にどのような影響が出ているか。

数で1万5千人、アルサス等地点別入込数で約3万3千人減少している。売上げを比較すると観光船運航事業者で約3千6百万円、土産店や飲食店などで約1千9百万円、宿泊業で約8百万円減少している。

漁業では飲食店の営業自粛に伴い、魚価が例年より低くなっている。

3月に入り村内でも飲食を伴う行事や祭事が中止となり、関係者に影響が出ている。4月に入り観光船の運航が延期され、昨年同時期と比べ乗船客

数で1万5千人、アルサス等地点別入込数で約3万3千人減少している。売上げを比較すると観光船運航事業者で約3千6百万円、土産店や飲食店などで約1千9百万円、宿泊業で約8百万円減少している。

漁業では飲食店の営業自粛に伴い、魚価が例年より低くなっている。

観光シーズン中だが車の出入りはあまりない
(アルサス海側駐車場)

支援制度の利用状況は

村独自の中小企業への支援制度の利用状況は、また、5月に販売された佐井村プレミアム商品券の購入状況は。

2 事業者が利用

事業資金貸付制度は、現在村内2事業者から申請があり、貸付をした。

商品券については、執行率約6割で例年以上の売れ行きとなっている。

に反映させることが重要である。現状を把握するため、村内企業への聞き取り調査はしているか。

関係団体に聞き取り調査を実施している。今後も隨時調査を実施し支援策に生かす。

染症対応地方創生臨時交付金が上限約3千6百万円で交付される。対象事業の一つである情報発信の充実という分野でサイボードの更新に係る交付事業申請を行なった。ま

た、特別定額給付金事業に申請・交付決定を受けた、特別定額給付金事業約2億円についてはすでに申請・交付決定を受けている。

セキュリティ上の問題で導入は困難である。来年度から想定しているオンラインの部分でカバーしたい。

生涯学習課長

近隣市町村の大半の学校ですでに導入している。工期も短く経費も十数万程度と聞いている。感染者が出てから、タブレットの準備ができるからではなく、命にもかかることなので早急な準備が必要である。

太田議員
感染症対策に係る国からの補助金額と支援制度の利用状況は。

村教育委員会の発表では、今後、下北地区で感染者が出た場合、村内小中学校を一斉休校することであった。緊急時の連絡手段として保護者へ一斉にメール配信できるシステムを交付金で導入してはどうか。災害時

村長

多方面に影響が出ている

3月に入り村内でも飲食を伴う行事や祭事が中止となり、関係者に影響が出ている。4月に入り観光船の運航が延期され、昨年同時期と比べ乗船客

太田議員

現場の声を反映させるべき

太田議員
サイボードの更新を申請した

村長

新型コロナウイルス感

入してはどうか。災害時

検討する

地域住民の安全・安心を確保するため、悠長な

さい議会だより 190 号 (4)



5月に村内各地区で特別定額給付金の申請受付を行なった

根岸議員
役場庁舎を含め、村の

**新しい生活様式
実践しているか**

これまで把握している
中で、拒否といった申し
入れや申請などはない。

根岸議員

マスクの着用を徹底す
るとしているが、熱中症
対策も同時に考えなくて
はならないのではないか。

新しい生活様式

①相手と身体的距離を確保すること

②マスクの着用

③手洗いや咳エチケット

この3つの基本のほか、

三密（密集、密接、密閉）を避ける

*一人ひとりが感染防止の対策を取り入れた生
活様式を実践することが求められています。

社会経済の活動レベル
の段階的な引き上げにつ
いては、「新しい生活様式」
の定着が前提となつてい
ることから、職員自らが
住民の模範となるようし
っかりと感染防止に取り
組みたい。

根岸議員
フェイスシールドやマ
ウスシールド等、備品と

根岸議員
フェイスシールドやマ
ウスシールド等、備品と

根岸議員
感染防止のグッズ等、
新しいものが出てきてい
るので、検討し取り入れ
たい。

**現時点ではいな
い**

未受給者は62人になる
が、この中に辞退者など
があつたのか。

根岸議員
辞退者はいたか

村長
6月5日時点で、申請
率は97・6%、給付率は
96・8%となつてある。
郵便物の誤送付や二重給

村長
給付率は96・8%

根岸議員
特別定額給付金の給付
はどの程度進んだか。
また、給付は適正に行
なわれたか。



根岸浩則 議員

新型コロナウイルス感染症 自然災害時の避難所の体制見直すべき 村長－災害の種類に応じた避難所を整える

付などといった重大な事
案は発生しておらず、適
正に事務処理は遂行され
ている。

総務課長
水分を取るなどして熱
中症対策をしていきたい。

総務課長
そのつど検討し
取り入れる

総務課長
水分を取るなどして熱
中症対策をしていきたい。

総務課長
そのつど検討し
取り入れる

して取り入れる考えはな
いか。

公共施設において、「新し
い生活様式」は実践され
ているか。

総務課長
水分を取るなどして熱
中症対策をしていきたい。

総務課長
そのつど検討し
取り入れる

総務課長
水分を取るなどして熱
中症対策をしていきたい。

総務課長
そのつど検討し
取り入れる

根岸議員
すでに間仕切壁の設備
対策が進められている自治体もあるが、当村においても距離を取るための

A black and white photograph of a modern, single-story building with a light-colored, horizontally-ribbed facade. The entrance features large glass doors and windows. A sign above the entrance reads "松田保健センター". To the left, a smaller sign indicates "巡回セミナー" and "巡回講演".



避難所として位置づけられている建物には看板が立っている。
(写真は原田地区生活改善センター)

4項目の支援を考えている

国や県の支援策を優先的に活用していただき、支援措置が届いていない部分に適切な時期を見て対策を講じていきたい。

地域経済の落ち込みが予想される下期に向けて①村民一人当たり5千円の住民生活応援券の配布②プレミアム率の高い共

先の支援策を実施したい

不要不急の外出を避けてことによる在宅時間の増加、また、水道料金の増やマスクや消毒液の購入による必要経費の増加など家計への負担に繋がっている。これらの支援等として水道基本料金を定期間無料化できないか

聞き取りなどして
判斷する

聞き取りなどして
判断する

エロナ状況下における
自然災害時の避難生活、
避難場所の設備等の対策
をどのように考へてある
か。

避難所の
設備対策は

か。設備対策が必要ではない

国の財政支援受け 整備すべき

再度確認する

村長
各地域の避難所は災害の種類によって適しているところといないところがある。今後、表示板等でも明らかにし、避難所の見直しを講じていく。

国では最大クラスの災害に備え、避難施設を増強するうえで最新の想定に基づいて建物を改修する自治体に財政支援する方針を打ち出した。これを機会に避難所の体制の見直し、改修工事など検討すべきでは。

村独自の支援策は
根岸議員
国や県がさまざまな支
援策を打ち出している。

④高校生の子弟を有する世帯への通学費と下宿費の定額または定率の補助
観光関連業者について
は、意見を聞き検討を加え対策を講じる。

村独自の支援策は理解できるが、村民の生活支援をまんべんなく行き届けることの一つに水道基

通商品券の発行
③0歳児から中学校3年生まで一人5千円の図書カードの記布

は県内でも取り組んでい
る自治体はあるが、私と
しては、先に答弁した支
援策を実施したいと考え
ている。



山口捷夫 議員

日本で最も美しい村づくり事業 クラフトビールの今後の方針性は

村長 — 村の特産品となるか見極めたい

さらに、細川建設株式会社からは地域貢献事業として重機の提供を受けています。

今後のビールの
製造販売は

可能性がなければ
やめるのか

山口議員

クラフトビールは今後、村が製造販売を行なうのか。それとも事業者を募集するのか。

特産品となるか
見極めたい

ビジネスとして
成り立つてほしい

村が主導では
考えていない

この事業に携わっているプロジェクトチームの意見を取り入れ、クラウドファンディングなど利用し、村が指導・協力してはどうか。

村が主導の事業体は考えていない。民間でこの事業に興味を示している会社があり、そのへんも含めて検討したい。

民間で起業していただく形がよい。

村長

起業する形がいい

山口議員
指導・協力しては

村長

6月10日現在で
83名が参加

地域の活力に
繋がるものである

井村でワインやクラフトビールをつくるに取り組んでいるが、ホップの試験栽培を行なうにあたった去年と今年の経費はどうのくらいか。また、何人が参加協力しているのか。

この経費と参加人数に、ビールをつくることで村の活性化に繋げたいという思いが強く感じられる。村長の考えはどうか。

村長

特産品となるか
見極めたい

ビジネスとして
成り立つてほしい

村長

昨年の試験栽培では、312本のクラフトビールを製造した。ビジネスとして成り立つか、新たに村の特産品としての可能性はあるか見極めた

るだけでなく、28のアクションプランに取り組むことにより結束力が生まれ、地域の活力に繋がることを確信している。

村長

事業体は
村が設立するのか

令和元年度の経費は、118万3344円。令和2年度は予算ベースで259万4千円である。参加人数は、プロジェクトチームを中心に令和元年度は106名、本年度は6月10日現在で83名。

クラフトビールをつくるだけでなく、28のアクションプランに取り組むことにより結束力が生まれ、地域の活力に繋がることを確信している。

事業体を設立したいとの考えだが、村が新たに設立するということ。



昨年度は2.6kgのホップを収穫し、312本のクラフトビールが完成した

村長

民間で起業していただ
く形がよい。

山口議員

村は昨年から、日本で最も美しい村事業のアクションプランの中の「佐

さに、細川建設株式会社からは地域貢献事業として重機の提供を受けています。

山口議員

クラフトビールは今後、

性がなければ、クラフトビールづくりはやめるの

か。

民間で起業していただ
く形がよい。

この事業に携わっている

プロジェクトチームの

意見

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ
ン
デ
イ
ン
グ
な
ど
利
用
し
、
村
が
指
導
・
協
力
し
て
は
ど
う
か

を

取
り
入
れ
、
クラ
ウ
ド
フ
ァ

6月定例会

福浦小中学校跡地利活用 運営事業者の募集の進め方は

村長 — 公募型プロポーザルで募集・選定をする

山口議員

昨年度、福浦小中学校の利活用の可能性調査業務を業者に委託し行なったが、今後の運営事業者の募集や決定についての考え方を伺いたい。

公募型プロポーザルを行なう

反面、コロナの影響などありそれが可能かという不安もある。

青森銀行との事業についてのディスカッショーンを行なったとのことだがその内容は。

銀行の参画が可能かどうか相談

可能性の一つとしての案である

総合戦略課長

校舎で惣菜などを作り、それを外食チェーンに提供することでビジネスに繋がるのではということを、委託業者が大戸屋にその可能性を相談した。

利活用の一つとして探つた先が大戸屋ということである。

昨年度、株式会社東北博報堂と学校の利活用の可能性についての調査業務委託を締結し、今年度4月に結果を議会に報告した。

今後は、報告結果の利活用案も可能性の選択の一つとしながら、公募型プロポーザルにより運営事業者の募集・選定を進める。

山口議員

青森銀行との話し合いの内容は

山口議員

大戸屋との取り組みとは



これから利活用に向けて進んでいく

学校跡地利活用可能性調査業務報告書で出された事業案

全く新しいホテル・観光事業を中心に展開するのではなく、

今ある地域コンテンツを磨き・育てる場と捉える。

これに付帯してホテル・レストラン・物販等の機能があり、外部との交流を生み出す。

利活用事業案①

「農水産物の付加価値創出事業」

⇒食品加工技術を用いた農水産物の商品開発やクラフトビール等の生産拠点。全国への流通販売にも事業展開を行なう、漁業を中心とした6次化産業の場。

利活用事業案② ※代案

「スポーツ合宿事業」

⇒アマチュアスポーツのサークルや、仲間連れて利用できるスポーツ合宿の聖地化。ジムやSPA（温泉等）の機能を廃校に設置し、地域住民も気軽に利用できる施設に。

新型コロナウイルス感染症対策 指定管理者施設へも検温器を

川畠委員

新型コロナウイルス感染症対策に係る各公共施設の検温器の状況は。

集会施設用を注文している

総務課長

検温器の発注状況は各

防止するのが最大の責務であると考えている。
くるだろうと想定する中で、施設の規模・人数に応じた検温器などの導入を、近々開催予定である対策本部会議の中で検討を進めたい。



住民検診では、受診者は検温をしてから会場内へ入った
(7月10日アルサス)

村長
第2波、第3波の感染にも素早く対応し未然に
対策本部で検討する

各学校・各地区に配布
ということで村民も心強い
いと思う。そのほか、指
定管理施設へも村からの
配備が必要と考
えるが。

川畠委員
指定管理施設へ
村が配備しては

個の検温器は、2個は役
場内で使用、残りの3個
は学校へ優先的に配布し
た。

集会施設用として10個注
文している。現在ある5

個の検温器は、2個は役
場内で使用、残りの3個
は学校へ優先的に配布し
た。

研修では政治評論家の
有馬晴海氏を講師に迎え、
「これから政局・政治
展望」と題した講演が行
なわれた。

第2次安倍政権は7年
半になる。総理の念願は
憲法解釈を変え、憲法改正
にある。

改正には、衆参共に3
分の2、国民投票は2分
の1必要なため、18歳以
上の選挙権付与になつた。

経済重視のアベノミクス
も二の矢、三の矢と継い
できているが、その影で
総理への忖度が派生し、
問題となつている。3期
目の任期は2021年9
月までだが、その前7月

レポート

県下町村議会議員研修会

派遣議員代表 議員 川畠勲夫



政治評論家 有馬 晴海 氏

のオリンピックは自分の手で行ないたいはずだ。
そうなると総選挙は10月
以降となるが、IOCはオリンピックの可否を今
出席した。年10月には決定発表した
いようだ。

財源がない、子どもが少ないこの国の現状下の中でアイデアを生かし、リーダーがしっかりと進路を示せれば日本はまだま
だと考えている。

この最後の言葉が強く心に残った良い研修会だ
った。

提言した3つの事項

子育て支援対策として、乳幼児から大学生まで1人あたり現金1万円を給付すること。

佐井村独自の支援策として、村民1人あたり現金5千円及び商品券5千円分を支給すること。

感染症対策として、議会議員の研修費並びに行政でこれまで中止となつた事業の予算の組替えを行い、対策へ活用すること。

政策提言

新型コロナウイルス感染症 村民・事業者へ早期の支援を

世界的に猛威を振るう新型コロナウイルスによる感染症は、国内における感染者も増加し、感染拡大防止のため 東京2

020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期が決定されたのをはじめ、県内・郡内においても青森ねぶた祭・田名部まつり、村内ではウニ

宣言が拡大され日本全国に発令されて以降は、不要不急の外出の自粛が求められ、村民及び村内の事業者へも大きな影響を及ぼしております。

祭り、仏ヶ浦観光船運航開始の延期など様々なイベントや行事が中止となっております。

4月 16日、緊急事態

宣言がされたことに對し 敬意を表します。

議会においても、4月 27日に開催した連合審査会において、新型コロナウイルス感染症対策に関する

当村は、4月 8日に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、隨時対策本部会議を開催し、村民へのマスク配布等の対応をされたことに対し 敬意を表します。

当村においても、5月 27日に法に基づかない任意の新型コロナウイルス感染症対策本部を設置したところであり、今後予想される、第2波、第3波の感染に関して、予算措置も含め万全を期していただきようお願いいたします。

青森県では、5月 25日に全国的に緊急事態宣言が解除されたあとも、引き続き感染拡大の防止に万全を期す必要があると

してあります。

内 の事業者の支援をしていただけるよう提言するものであります。提言を実現するため、情報収集に努めると共に、事業計画策定により財源を確保し、予算へ反映していただき、早急に実施されるよう望むものであります。

佐井村議会では、議会改革特別委員会や連合審査会で議論を重ね、今回政策提言を行ないました。

【政策提言】

特定の問題に対する
議論を促すこと目的とした活動のこと。
佐井村議会では、議会改革特別委員会や連合審査会で議論を重ね、今回政策提言を行ないました。



6月 16日の特別委員会終了後、議長と議会改革特別委員会委員長が村長へ提言書を手交しました

陳情書の審査結果

6月定例会では、2件の陳情書を総務文教常任委員会に付託しました。
委員会での審査の結果、2件とも採択とし、関係機関へ「意見書」を提出しました。

看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情

【陳情者】 青森県医療労働組合連合会
執行委員長 山本 陽子

【陳情の趣旨】 看護師の賃金底上げなどの処遇改善や人材確保を実現するため、看護師を対象とした全国一律の最低賃金制度の新設を求める。

【審査結果】 **採択**

【付託委員会】 総務文教常任委員会

【採択の理由】 看護師の低賃金・過重労働の実態は依然として改善されておらず、このままでは人員不足を深刻化させ患者の安全や看護の質にも影響を及ぼしかねないため。

【意見書】 「看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書」を厚生労働大臣に提出しました。

介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情

【陳情者】 青森県医療労働組合連合会
執行委員長 山本 陽子

【陳情の趣旨】 介護従事者の賃金底上げなどの処遇改善や人材確保を実現するため、介護従事者を対象とした全国一律の最低賃金制度の新設を求める。

【審査結果】 **採択**

【付託委員会】 総務文教常任委員会

【採択の理由】 介護従事者の人材確保・離職防止対策は喫緊の課題である。このままでは人員不足を深刻化させ、利用者の安全や介護の質にも影響を及ぼしかねないため。

【意見書】 「介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書」を厚生労働大臣に提出しました。

～議会の傍聴についてのお願い～

第3回議会定例会は、9月上旬開催の予定です。

新型コロナウィルス感染症の拡大防止のため、傍聴する場合は次の点について、皆様のご理解とご協力ををお願いいたします。

1. マスクの着用をお願いします。
2. アルコール消毒液を準備していますので、手指を消毒してからご入場ください。
3. 風邪のような症状がある方は傍聴をご遠慮ください。

※傍聴席は間隔を確保するため、通常より少ない席数となります。

佐井小学校6学年(社会科見学)

議会見学会

～たくさんの質問が出ました～

6月25日（木）、佐井

小学校6年生が社会科の授業の一環として議会見学に訪れました。

第二委員会室で子どもたちからの質問に答えたあと、議事堂を見学しました。

議事堂内では議会事務局長から説明があり、その後議員席や執行部席に座り模擬会議を行ないました。

会議終了後、「模擬会議は緊張したけど楽しかった」と話す児童が多く、また、「質問に対してもすぐ答えなくてはいけなくて大変だと思った」など、さまざまな感想をいただきました。

見学後、第二委員会室に戻つてからも、さらに議会への質問や日頃思っていたこと、学校に関する要望など積極的に発言していました。議会のことがより身近に感じられる機会となつたこと思います。



議会事務局長から説明を受けます



質問の回答を熱心に聞いています

佐井村議会議員研修会

介護保険・国民健康保険制度等研修会を開催

7月10日（金）、第二委員会室において、介護保険・国民健康保険・後期高齢者医療制度についての理解をより深めるため、村担当課に依頼し、議員を対象とした研修会を行ないました。

研修会では、村担当課の職員からそれぞれの制度内容及び特別会計の仕組みなど複雑な内容をわかりやすく説明していただきました。

今後も継続的に開催し、議員の資質向上を図っていきたいと思います。



担当職員の説明後は積極的に意見が交わされた

昭和・平成・令和をつなぐ



太田 ハル子 さん (82歳)

「次に何を育てようか考えるのも楽しい」

今号の3ページで報告した農業委員の中にも登場しています、太田ハル子さん。昭和13年に大佐井で生まれからずつと佐井村で暮らしてきました。

毎日追肥したり、手をかけられた分だけ作物は応えてくれる。それが畑の魅力です。」と話してくださいました。

そんな中、今一番困っているのは、サルなどの動物による農作物の被害だそうです。

役場職員として定年まで働き、退職後に畑を少しやつてみたところ、とてもおもしろく、のめりこんで現在まできてしまったそうです。

村内に3カ所ある畑では、玉ねぎやじやがいも、ネギやカボチャなど全部で10種類以上の野菜を育てています。

「大体の野菜は種をまいて3か月くらいで収穫になる。

農業委員の仕事や月に2回病院に通う以外は、ほとんど畑に時間をかけているそうで、起きたらまず畑に行くそうです。

年を取った分、物忘れも出でたり、体の動きも悪くなつたと言いますが、畑作業の様子を見ると、テキパキと鎌を使いこなす太田さんは足腰の痛みも感じさせないほど手際の良さです。



今日は玉ねぎの収穫です



大きな玉ねぎがたくさん獲れました



平成23年からは農業委員を務めています

これから暑くなるので熱中症には気をつけて、無理せず大好きな野菜づくりを頑張ってください。

編集後記

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、約半年が過しようとしています。新しい経済がお過ごしでしょうか。新しい生活様式も定着していっているものの、季節は移り変わり、変化に応じた対策が日々求められるこの頃です。さて、6月定例会での審議内容をお届けしましたが、議場ではマスク着用、手指消毒、発言時はマスクを外し自席で行なうなど対策を講じました。

全国的に大雨による災害が多く発しております。感染症と合わせて息苦しさを感じる生活が続いておりますが、自分の命を守る意識を高め安心・安全で豊かな暮らしを取り戻していくましょう。これらの問題に常に向き合い、皆様と共に困難を乗り越えていくためにも、ご意見、ご要望などお声掛けくださるようお願い申し上げます。

議会広報編集委員会

委員長
副委員長
坂川山太
井畠口田岸
文勲捷直
浩明夫夫樹則
(根岸)